



<園経営の方針>

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本としています。

本幼稚園では、時任学園の建学の精神に基づき、教育基本法並びに教育関係法規、幼稚園教育要領、鹿児島県教育行政の基本目標などを踏まえ、適切かつ公正な教育課程を編成し、一人一人の幼児の実態に即した幼稚園教育を推進します。

そのために、すべての教育の基本である人権教育の精神を尊重し、学園職員としての使命と責任を自覚し、幼児愛・教育愛に燃え、相互に連携・協力し、職員としての指導力、実践力を十分に発揮するとともに、創立47周年の教育的伝統を継承・発展させ、家庭や地域、関係機関と緊密な連携を図りながら、保護者の信頼と期待に応えられるように幼稚園教育の一層の充実に努めます。

学校法人時任学園
《建学の精神》

「博文約礼」
広く学を修め、礼をもって行いを正す。

(遵守義務) 第3条 職員は学園の名誉を重んじ、学園の職員としての品位を保つとともに、学園の諸規則を守り、上司の職務上の命令に従い、学園の秩序を図って、互いに協力して職責を遂行し、建学の精神にのっとり、教育目的の達成に努めなければならない。

<国の教育施策>

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領

<鹿児島県教育基本目標>

夢や希望を実現し未来を担う
鹿児島の人づくり

- ～ あしたをひろく心豊かで
たくましい人づくり ～
- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間
 - 2 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間

<教育方針>

《一人ひとりの特性を尊重し、自立を促す教育の実践園》

明るく健康的な環境のもと、遊びを通して一人ひとりの子どもが生き生きと活動する中、心も体も健やかで調和のとれた発達を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎としての、生きる力を育てる教育を進めます。

- 一人ひとりを大切にします。
- 一人ひとり伸び伸びと、自分を自由に表現できることです。

<教育目標>

太陽のように 明るく 生き生きと すなおに かしこく

こんな幼稚園に

心に届く保育の実践
—楽しい幼稚園生活を—

- 指導計画に基づき総合的な保育をする幼稚園「主体的・対話的で深い学びに導くための関わりを意識して」
- 園児一人ひとりの人格の尊重と深い人間理解と感動を共有する幼稚園
- 園児一人ひとりの特性に応じて、園児の主体的活動を促す保育をする幼稚園
- 保護者と緊密な連携・補完をし合って、全職員（チーム太陽の子）で育てる幼稚園「子どもより子どもらしく遊び、親より親らしく子どもを思う」
- 幼児にとって楽しい幼稚園、そして、保護者に信頼される幼稚園

こんな子どもに

「育てたい子どもの10の姿」
を目指して

- 体も心も健康な子ども
領域「健康」
- みんなと仲よく遊べる子ども
領域「人間関係」
- 生き生きとして意欲的な子ども
領域「環境」
- 言いたいことがはっきり言える子ども
領域「言葉」
- 優しく心の豊かな子ども
領域「表現」

こんな職員に

<教育・保育は人なり>

- ・ 場を清め
 - ・ 時を守り
 - ・ 礼をつくす
- 使命感に燃え、人格の向上に努め、指導力がある職員

<時任学園の職員として>

- 1 自己研修・共同研修に熱意を燃やす職員（専門的な力量）
- 2 子どもを愛し、教育に生きがいを求める職員（教育愛と情熱）
- 3 日々の教育実践を大切にす職員（実践的指導力）
- 4 常に笑顔で子どもや保護者に接し、社会に信頼される職員（豊かな人間性）
- 5 率先垂範、奉仕の心をもつ職員（教師・園児同行）

キャッチフレーズ

「た」くさんあそび (体)
「い」つもえがおで (徳)
「よ」く考えて (知)
「う」きうき
「の」びのび
「こ」どもらしく

<令和6年度重点>

新しい「太陽の子幼稚園」へ
(保育活動の充実を目指して)
みんなで育てよう!太陽の子!心は一つ「協同の精神」

<「園経営と心構え」の三つの重点>

- 1 子どもの命を守ります。
- 2 幼稚園から不祥事を起こしません。
- 3 幼稚園の個人情報保護します。